

市川市立図書館のメールマガジンをお送りいたします。

「メールでのサービス」で配信をご希望された方へお送りしています。

市川市市制施行 80 周年記念・中央図書館開館 20 周年記念

◆◆◆-----  
◆◆ 市川市立図書館メールマガジン 第 54 号 2014.6.10  
◆-----

国際記念物遺跡会議 (ICOMOS) が世界遺産 (文化遺産) への登録を勧告した「富岡製糸場と絹産業遺産群」。6 月 15 日から 25 日にカタールのドーハで開かれる第 38 回世界遺産委員会で正式に登録される見通しです。中央図書館の 6 月から 7 月の展示は「日本の世界遺産」、日本にある世界遺産を本で巡ってみませんか。

■ ■ 図書館からのお知らせ □-----

◆蔵書点検による休館のお知らせ

○市川市の図書館は、蔵書点検のため次の日程で休館させていただきます。休館期間中は大変ご不便をおかけいたしますが、皆様のご協力をお願いいたします。

◇信篤図書館・南行徳図書館・平田図書室 6 月 16 日 (月)～6 月 20 日 (金)

◇中央図書館・こどもとしょかん 6 月 23 日 (月)～6 月 27 日 (金)

○ウィズ (男女共同参画センター) 情報資料室も蔵書点検のため 6 月 17 日 (火) から 6 月 19 日 (木) まで休館します。

○市民図書室、公民館図書室、情報プラザについては、通常通り開館いたします。

○蔵書点検期間中、図書館入口横の返却ポストにお返しいただいた資料は返却処理ができません。返却期限を過ぎると、インターネットからの予約ができなくなりますので、あらかじめご了承ください。

○行徳図書館の蔵書点検は 6 月 6 日 (金) に終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

■ ■ テーマ展示 □-----

◆中央図書館

○「日本の世界遺産」(6～7 月)

昨年富士山が世界遺産に登録されたことは記憶に新しいところですが、今年も群馬県の富岡製糸場が登録まちがいなしと報道されました。2年連続の登録とは、とても悦ばしいことですね。そこで今回の特集展示は「日本の世界遺産」をテーマに資料を集めました。

修学旅行で訪れたことのあるような我々にとって有名・定番なところもある一方、たどりつくまでが大変な秘境の地(?)のようなどころもあるようです。

梅雨が明けたら夏休みももうすぐ。海外にも様々な世界遺産がありますが、今年の夏の計画には日本の世界遺産を訪れる旅を取り入れてみてはいかがでしょうか。

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/info/1149.html>

○展示の本からいくつかをご紹介します。

◇『「世界遺産」の真実』佐滝剛弘／著（祥伝社 2009）

「世界遺産」と聞くと皆さんはどんなイメージをお持ちになりますか？「観光地として必ず行くべきところ」「世界に認められた文化遺産」などと多くの人は考えるところですが、著者はこういったイメージは誤解であると言っています。この本は知られざる現実を明らかにしつつ、「世界遺産」の本来の意味をわかりやすく語っています。

◇『今すぐ行きたい！産業遺産』小野崎敏／監修（竹書房 2014）

今年3月に刊行されたばかりの図書ですので、情報が新鮮です。富岡製糸場はもちろんのこと日本の近代化を支えた施設が紹介されており、日本のモノづくりの歴史を垣間見ることができます。

近い将来世界遺産に登録されるかもしれない施設や地域へいち早く訪れたい方に。

◇『日本の世界遺産』（JTB パブリッシング 2012）

日本各地の世界遺産を多くの写真やコラムにより紹介しています。JTBの編集によるため、遺産を巡るモデルコースも掲載されています。

.....  
◇メールマガジンの登録・解除はこちら

<https://opac.city.ichikawa.chiba.jp/winj/opac/top.do>

◇このメールは自動配信されています。このアドレスに返信いただいても内容の確認およびご返答ができません。ご了承ください。

---

市川市中央図書館

〒272-0015 千葉県市川市鬼高 1-1-4 047-320-3346

---